



## ミナミコアリクイに五男が誕生！ ～介添え哺育ですくすく成長中～

2024年4月18日

株式会社伊豆シャボテン公園



伊豆シャボテン動物公園では、2024年4月4日(木)に、「シャボテン温室」内の展示場にてミナミコアリクイのオスの赤ちゃんが1頭誕生いたしました。

赤ちゃんはオスで、父「ドン」(推定15才以上)と母「ココア」(11才)の間に五男として誕生しました。今までの子育てではすぐに赤ちゃんを放置してしまった母「ココア」ですが、複数回の出産を経験して母性が見られるようになりました。今回は、誕生当日から赤ちゃんを抱いたりおんぶしたり、しっかりと子育てをしております。

しかし、生後1週間ほどで赤ちゃんの体重の減少がみられたため、飼育員が授乳のサポートをする『介添え哺育』を開始いたしました。飼育員による授乳は1日2回行っており、誕生当時462gだった体重は4月17日(水)現在で574gまで増え、順調に成長中です。親子の様子は、「シャボテン温室」内の展示場にて見ることができます。

※赤ちゃんの体調によりご覧いただけない場合がございます。

お問い合わせ先：株式会社伊豆シャボテン公園 企画広報部  
TEL:0557-51-1115(代) URL:<https://shaboten.co.jp/>  
〒413-0231 静岡県伊東市富戸 1085-4

## — 当園のミナミコアリクイファミリー —



父「ドン」 推定 15 才以上



母「ココア」 11 才



長男「コン」 5 才



次男「ト」 4 才



三男「ケイ(繫)」 3 才



四男「イク(育)」 2 才

## — ミナミコアリクイとは —

【学名】 *Tamandua tetradactyla*

【英名】 Southern tamandua、Lesser anteater

【分類】 有毛目オオアリクイ科コアリクイ属

【分布】 ブラジル、ベネズエラ、パラグアイなどの南米北中部

【体長】 頭胴長 35～90cm、尾長 35～70cm

【体重】 3.5～8.5kg

【生態】 黒色のベストを着ているように見える背中の V 字型の模様が特徴。樹上で生活をするため、尾の内側に毛は生えておらず木に巻き付けて移動ができる。前肢の大きなカギ爪も特徴で、この爪は木登りだけでなく威嚇をしたりアリ塚を壊したりするのに役立ち、壊したアリ塚やハチの巣から、アリ、白アリ、ハチなどを 40cm ほどにもなる長い舌を使って舐めとるように食べる。最近の研究では、ミナミコアリクイのメスは平均して約 44 日間の発情周期があることが分かっており、妊娠期間は 130～190 日ほど、1 回の出産で 1 頭の子を産む。

■赤ちゃんは頭胴長約 25cm、尾長約 17cm、体重 574g（2024.4.17 現在）

■ミナミコアリクイの赤ちゃんは、生後 1 週間頃から、朝・晩の 2 回飼育員が介添えをしながら授乳を行っております。